

学校教育目標  
〇強く、やさしい子学校教育目標  
〇考える子学校教育目標  
〇努力する子思い描く「未来」を実現しようとする子が育つ学校  
**感動・共感・感謝 を大切にしたい学びがある学校**

～わくわくしながら探究する学び・他者の思いや考えを認め合い尊重し合う学び・社会（人）に役立つ喜びを実感する学び～

「未来」とはいわゆる将来のことだけを指すのではなく、1時間の授業、単元、一つの行事、1日、1週間、1ヶ月、学期、年度、卒業、社会人として活躍する自分の将来等、様々な場面を想定する。

「自分のよさや可能性を信じて行動する子ども」 「違いを認め思いやり学び合う子ども」 「社会の創り手として行動する子ども」を育てるために特に大切に資質・能力  
〇人を大切にする心情 〇自分の考えをもつ力 〇自分を表現する力 〇チャレンジする向上心

## 1 学習指導

わかる！ できる！ 楽しい！

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着
- 「せたがや探究的な学び」の実現
- 「協働的な学び」「共感的な学び」「個別最適な学び」「体験活動や交流活動」の充実
- 学習の基盤的なツールとなる学習用端末やアプリの効果的な活用
- 学びの振り返りの重視
- 生活や社会につながる学び

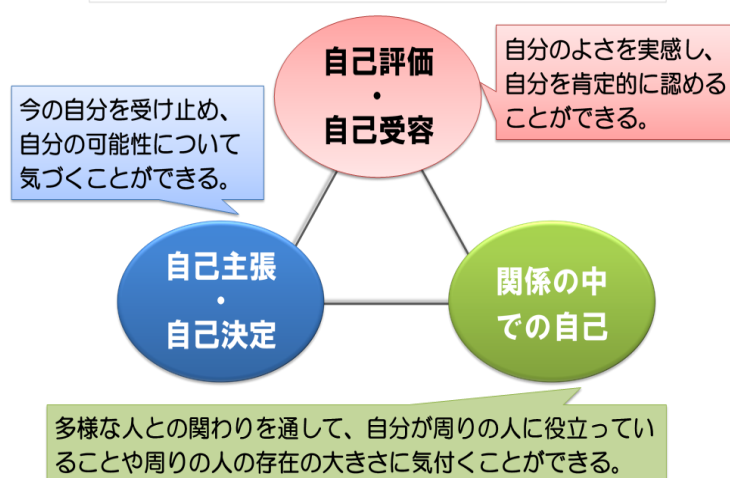
## すべての子どもたちの活躍の舞台 塚戸小学校！

自分のよさが認められる安心できる場所 塚戸小学校  
今もっている力を存分に発揮できる場所 塚戸小学校  
自尊感情と自己有用感が育つ 塚戸小学校  
意欲と主体的な行動力が育つ 塚戸小学校

"じぶん" っていういいな "ともだち" っていういいな

～互いを認め合う塚戸の子・「三感王」を目指す塚戸の子～

## 自尊感情や自己肯定感が育つ学校



## 2 生活指導

一人一人の児童を大切に

- 自分らしい生き方を実現できる自己指導能力の育成
- 社会的資質・能力や自己実現の支援
- 自己存在感の感受
- 共感的な人間関係の育成
- 思いやりのあるあたたかな学級・学校づくり
- 自己決定の場の提供
- 子どもの声を聞き、子どもと共に創り上げる活動
- 安全・安心な風土の醸成
- いじめや不登校の早期発見や未然防止等への総合的な対応と教育相談機能を備えた学校づくり
- 特別支援教育の視点に立った教育の推進
- 全教職員の理解と協力体制の構築
- よりよい生活習慣の定着
- コミュニケーションの基盤である「あいさつ」の尊重

## 3 道徳教育・人権教育

自尊感情・他尊感情の醸成

- 自己決定や学び合いを重視した教育活動の展開
- 自他の生命と人権の尊重
- 相手の気持ちを考えることのできる思いやりの心の醸成
- 自分とは異なる意見や立場を尊重する児童の育成
- 道徳教育の要となる道徳授業の充実
- 道徳授業地区公開講座の開催

## 4 教育DX（トランスフォーメーション）の推進

「質の高い学び」と「接続可能な学校」の実現

- デジタル技術を効果的に活用した学びの推進
- 一人1台のタブレット端末の効果的な活用
- 一人一人の個性に合わせた学び方の構築
- 学習アプリ「キュビナ」等を効果的に活用した基礎・基本の定着
- 働き方改革への取組

## 7 健康・安全

自分の命は自分で守る子  
～計画的な安全指導・避難訓練の実施～

- 防災、防犯、交通安全指導の徹底
- 病気やけがを予防する指導の充実
- 運動に対する情意向上のための体力向上の取組
- 自ら危険を予知する能力の育成
- 自分で考え、判断し、行動できる児童の育成
- SOSの出し方教育・いのちの安全教育の実施

## 5 特別活動

人間関係 合意形成 課題解決

- 多様性の尊重とよりよい人間関係の形成
- 学級内の組織づくりや役割の自覚
- 学級や学校における生活上の諸問題の話し合いによる解決
- 希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- キャリア教育の推進、キャリア・パスポートの充実
- つかどんタイム、つかどん遠足等の異学年交流充実

## 8 学校運営

子ども中心の学校運営

- 教育課程の適正な管理（内容・授業時数等の管理）
  - 服務事故の防止と服務の厳正
  - OJTの推進と組織的な人材育成
  - インクルーシブ教育に関する教職員の理解深化
  - 授業改善を要とした学校経営方針の実現
- ※児童のよさや学びへの努力を丁寧に捉え、「勇気づけ」と「価値づけ」を児童の主体的な学びの基盤とする。

## 9 研究・研修

よい授業はよい学級をつくる  
よい学級はよい授業をつくる

- 「せたがや探究的な学び」の推進
- 子どもの「学ぶ姿」から学び合う教員
- 教員の指導力向上と授業改善
- 校内研究「主体的な学びを生み出す授業～国語の授業改善を通して～」の推進
- 世田谷区立小学校教育研究会への計画的参加

## 6 インクルーシブ教育の充実

全ての子が塚戸小学校で自己実現を！

- 全ての子どもたちが安心して学ぶための特別支援教育の充実
- 共生・共感の社会で生きるための素地づくり
- 特別支援学級、すまいるルーム、ほっとルーム、おひさまルーム、個別学習ルーム等の学びの場の多様化と担当者との連携
- 全ての子どもが参加できる「授業・行事等の工夫」
- 関係機関、保護者との協力・連携
- Q-U調査分析の活用と教育活動の改善
- 学校全体がチームとなった組織的な指導・支援

## 10 保護者・地域・関係機関との連携

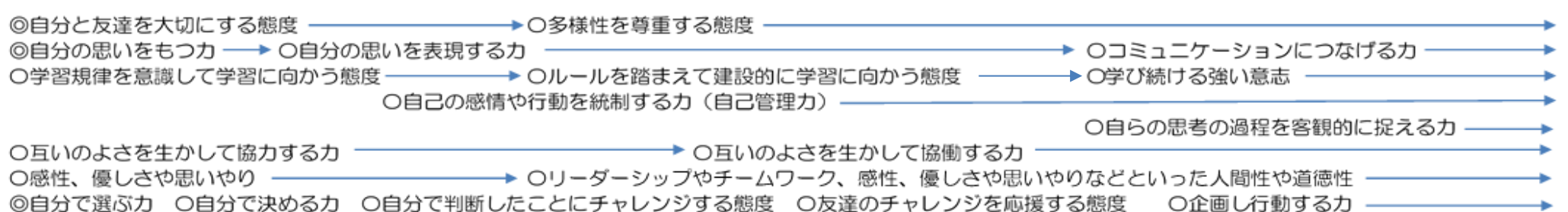
信頼される学校づくり

- 児童の「多様性」、教職員の「多様性」、保護者・地域の「多様性」、学校経営の資源としての「多様性」を生かした「チームとしての学校」の実現
- 就学前教育及び中学校教育の接続を意識した教育
- 地域の教育力を生かした授業づくり
- ホームページや学校だより等による情報発信の充実
- 双方向的情報発信の工夫（学校公開・個人面談・保護者会等）

低学年

高学年

## 非認知能力（学びに向かう姿勢・人間性の涵養）の系統的育成



令和7年度教育課程について（届）第1表より

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

開校 150 年の歴史と伝統に誇りをもち、生涯にわたって心豊かにたくましく生きる人間の育成をめざす。人間尊重の精神を基調とした教育を推進し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図るために、次の教育目標を設定する。

- つ 強く、やさしい子 …生命を尊重し、心身ともに健康で、活力に満ち、たくましさ<sup>1</sup>と他者を理解し思いやる心を兼ね備えた子
- か 考える子 …主体的に学びに向かい、正しく判断し、創意工夫をして行動する子
- ど 努力する子 …目標をもって最後までやりぬき、自ら個性や能力を伸ばす子

(2) 令和7年度の重点目標

一人一人の児童が安心して学ぶことができる学校	児童の学びを生活や社会に「つなぐ」学校	「質の高い学び」が実現する学校	地域社会と協働する学校
違いを認め、思いやり、助け合う	社会の創り手として行動する	自分のよさや可能性を信じる	共に成長し続ける

**ア 一人一人の児童が安心して学ぶことのできる学校** ～違いを認め、思いやり、助け合う～

- ・多様な考えや価値観等を共感的に認め合い、尊重し合う個の育成と集団づくり
- ・信頼をベースにした支持的文化の醸成と学び合う集団としての規律や規範意識の確立
- ・あらゆる偏見と差別を許さない「世田谷区子ども条例」を踏まえた人権教育・道徳教育・インクルーシブ教育の推進
- ・一人一人のよさや可能性を生かした協働的な集団活動の充実を図る特別活動の推進
- ・児童が学びの主体となり、多様な他者と豊かに関わりながら「自分らしく学ぶ教育」の推進
- ・いじめや不登校の早期発見や未然防止等への総合的な対応、教育相談機能を備えた学校づくり
- ・多様な学びの場の環境整備や「安心と挑戦の循環」の保障を通したウェルビーイングの向上
- ・地域・家庭と連携・協働した体験活動や交流活動等の充実による自己肯定感や自律性の醸成

**イ 児童の学びを生活や社会に「つなぐ」学校** ～社会の創り手として行動する～

- ・自分の成長を捉え、学校や地域社会での経験を蓄積して自信につなげる「キャリア・未来デザイン教育」の充実
- ・社会で必要とされる「汎用的な力」や、自らの「未来」を描きながら生涯にわたって学び続けるための「学ぶ力」を育む教育活動の推進
- ・「社会（人）の役に立つ喜びを実感する学び」「社会（学級・学年・学校・地域）を変えようとする創造的な学び」の実現
- ・人や社会などとのつながりの中で育む非認知能力育成を重視した教育活動の推進
- ・学びを「つなぐ」カリキュラム・マネジメントの推進 【体験と言語をつなぐ・各教科等をつなぐ・単元をつなぐ・課題と成果をつなぐ・人とつなぐ・暮らしや社会とつなぐ・自分の将来とつなぐ】

**ウ 「質の高い学び」が実現する学校** ～自分のよさや可能性を信じて主体的に学ぶ～

(ア) 「せたがや探究的な学び」の実現

- ・他者と協働して自分たちで課題等を解決していく「探究のプロセス」を重視した質の高い「せたがや探究的な学び」の実現
- ・振り返りを重視した探究のプロセスと主体的な学びの実現
- ・知的好奇心や経験に対しての探究心を引き出し、新しい知の創造につなげる授業改善の工夫
- ・興味・関心や能力・特性に応じて児童が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザインを生み出す校内研究の充実
- ・自己決定や合意形成、学び合いを重視した教育活動の展開
- ・デジタル技術の効果的な活用やカリキュラムデザイン開発を通した個別最適な学びと協働的な学びの充実

(イ) 子ども主体の学びを支援する学校

- ・児童のよさや学びへの努力、他者に対する思いやりなどを丁寧に受け止め、「勇気付け」と「価値付け」ができる温かな教職員集団
- ・対話的な関わりを大切にしたキャリア・パスポートの活用
- ・自ら考え、想像力をはたらかせ、価値観の異なる友達と話し合い、互いに承認しながら否定しない関係性の育成を目指した「自己選択・決定」と「認め合う関係性」を重視した教育活動の工夫

(ウ) 児童の可能性が輝く柔軟な教育課程の在り方検討

- ・教師・児童共に「余白」を生み、「質の高い学び」と「接続可能な学校」の実現を同時に目指した新しい学校運営や教育創造へのチャレンジ
- ・教育DXの推進や会議の精選、学校運営組織の再構築とマニュアル化、週時程の見直し、資質・能力の育成を基盤としたカリキュラム・マネジメントの推進、人的配置の効果的な活用、長期休業日の柔軟な勤務体制等による働き方改革の推進
- ・教職員の人間性や創造性の向上、心身の健康増進への支援

**エ 地域社会と協働する学校** ～共に成長し続ける～

- ・児童一人一人のもつ力やよさを最大限に伸長させるための、就学前教育及び中学校教育との接続を意識した「キャリア・未来デザイン教育」の充実と推進
- ・児童の「多様性」、教職員の「多様性」、保護者・地域住民の「多様性」、学校経営の資源としての「多様性」を生かした「チームとしての学校」の実現
- ・家庭や地域、関係機関との連携協働・相互交流の推進による「開かれた学校づくり」の実現